

つなぎ言葉のあとにくる 文を えらぼう

なまえ _____

小3/2まいめ 「それで」「しかし」「けれども」も出てくる 1まい

ひづけ _____

つなぎ言葉のあとにつづく 文を ア～ウから えらんで、記号を 書きましょう。
「それで」は だから と、「しかし」「けれども」は でも と 同じ 向きです。
組ごとに つなぎ言葉が かわります。言葉の 形ではなく 向きで 考えましょう。

1 きのうの 夜は 雪が ほとんど ふりませんでした。

ア バスは いつもより おくれて 来ました。

イ 空は 一ばん中 よく 晴れて いました。

ウ バスは いつもどおりに 来ました。

(1) それで、

(2) しかし、

2 まいさんは ピアノの 練習を ほとんど しませんでした。

ア はっぴょう会では うまく ひけませんでした。

イ はっぴょう会では 上手に ひけました。

ウ ピアノは おばさんから ゆずって もらいました。

(1) けれども、

(2) だから、

3 体いくかんの そうじを みんなで しました。

ア そうじは なかなか 終わりませんでした。

イ そうじ当番は 先週 みんなで 決めました。

ウ そうじは すぐに 終わりました。

(1) しかし、

(2) それで、

4 たろうさんは ねる 前に たいくつな 本を 読みました。

ア その 本は しゅくだいで 読む ことになって いました。

イ さいごまで 目が さえて いました。

ウ すぐに ねむく なりました。

(1) だから、

(2) けれども、



つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう【こたえ】

小3/2まいめ 「それで」「しかし」「けれども」も出てくる1まい

なまえ _____

ひづけ _____

赤い記号がこたえです。下の行は、つかわない文とそのわけです。
つかわない文は、理由の文のことも、1文目とつながらない話のこともあります。

1 きのうの夜は雪がほとんどふりませんでした。

ア バスはいつもよりおくれて来ました。

イ 空は一ばん中よく晴れていました。

ウ バスはいつもどおりに来ました。

(1) それで、

ウ

(2) しかし、

ア

つかわない文：イ（1文目の理由）

2 まいさんはピアノの練習をほとんどしませんでした。

ア はっぴょう会ではうまくひけませんでした。

イ はっぴょう会では上手にひけました。

ウ ピアノはおばさんからゆずってもらいました。

(1) けれども、

イ

(2) だから、

ア

つかわない文：ウ（そうなる話でも反対の話でもない）

3 体いくかんのそうじをみんなでしました。

ア そうじはなかなか終わりませんでした。

イ そうじ当番は先週みんなで決めました。

ウ そうじはすぐに終わりました。

(1) しかし、

ア

(2) それで、

ウ

つかわない文：イ（そうなる話でも反対の話でもない）

4 たろうさんはねる前にたいくつな本を読みました。

ア その本はしゅくだいで読むことになっていました。

イ さいごまで目がさえていました。

ウ すぐにねむくなりました。

(1) だから、

ウ

(2) けれども、

イ

つかわない文：ア（1文目の理由）